



たてやま議会だより



●令和元年6月号 ●No.125 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

18議席決定!



議会の体制も決まる!

任期満了に伴う市議会議員選挙は、4月21日に行われ、18人の議員が選出されました。
5月15日には、第1回臨時会が開かれ、下表のとおり議会の構成が決定しました。

議会の構成

(◎委員長、○副委員長)

議長 石井 信重 副議長 太田 浩

総務委員会委員 6人

◎望月 昇 ○石井 敬之 佐野 聖一
倉田 孝浩 室 厚美 榎本 祐三

建設経済委員会委員 6人

◎石井 敏宏 ○龍崎 滋 長谷川 秀徳
石井 信重 秋山 光章 本橋 亮一

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 1人

本橋 亮一

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員 2人

石井 信重 榎本 祐三

監査委員 1人

鈴木 正一

文教民生委員会委員 6人

◎鈴木 正一 ○鈴木 順子 鈴木 ひとみ
森 正一 瀬能 孝夫 太田 浩

議会運営委員会委員 9人

◎石井 敬之 ○石井 敏宏 鈴木 ひとみ
森 正一 瀬能 孝夫 鈴木 正一
秋山 光章 本橋 亮一 鈴木 順子

三芳水道企業団議会議員 5人

佐野 聖一 長谷川 秀徳 望月 昇
石井 敬之 鈴木 正一

新しい館山市議会の顔ぶれ

新人・元職議員6名を含む18名体制で始動

議員紹介(50音順) ①住所 ②党派 ③当選回数 ④職業
⑤年齢(令和元年5月1日現在)



石井 敏宏
(いしい としひろ)

①上真倉320-2②無所属
③3回④無職⑤47歳



石井 敬之
(いしい たかゆき)

①湊253-1②無所属
③3回④無職⑤63歳



秋山 光章
(あきやま みつあき)

①大井823-2②無所属
③5回④農業⑤72歳



太田 浩
(おおた こう)

①塩見244②無所属
③3回④無職⑤63歳



榎本 祐三
(えのもと ゆうそう)

①笠名1501②無所属
③5回④無職⑤73歳



石井 信重
(いしい のぶしげ)

①那古510-1②無所属
③4回④会社役員⑤49歳



鈴木 順子
(すずき じゅんこ)

①下真倉227-40②社会民主党
③8回④政党役員⑤69歳



佐野 聖一
(さの せいいち)

①波左間1055②無所属
③1回④自営業⑤43歳



倉田 孝浩
(くらた たかひろ)

①館山1463-2②無所属
③1回④柔道整復師⑤58歳



瀬能 孝夫
(せのう たかお)

①佐野2080-5②公明党
③3回④無職⑤61歳



鈴木 ひとみ
(すずき hitomi)

①佐野361-41②無所属
③1回④学習塾経営⑤60歳



鈴木 正一
(すずき しょういち)

①神余1490②無所属
③4回④農業⑤68歳



望月 昇
(もちづき のぼる)

①北条2010②無所属
③3回④会社員⑤61歳



室 厚美
(むろ あつみ)

①波左間1049-2②無所属
③2回④自営業⑤53歳



長谷川 秀徳
(はせがわ ひでのり)

①船形1020-1②無所属
③1回④会社員⑤57歳



龍崎 滋
(りゅうざき しげる)

①広瀬755②公明党
③3回④農業⑤65歳



森 正一
(もり しょういち)

①八幡277-19②無所属
③3回④学習塾経営⑤51歳



本橋 亮一
(もとはし りょういち)

①長須賀299②無所属
③7回④会社役員⑤67歳

議長

石井 信重

副議長

太田 浩

◇就任に当たって

改選後の正副議長の職を私たちが務めることとなりました。

令和の元号のごとく、決まりを重んじ、和をもって貴し(とうとし)となす。そんな議会のあり方を願いながら、市民の皆様に関われた、秩序ある、円滑な議会運営に努めたいと考えております。

私たち市議会としても執行部とともに、館山市が抱える課題に対して的確に対応し、市民に信頼される議会にしていきたいと考えております。

そして、館山市の発展のため、館山市民の福祉の向上のため、市議会が制定した、「館山市議会基本条例」を規範として、議論し、納得し、そして市民の皆様に関わっていく議会としていきたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成31年3月定例市議会

平成31年度館山市各会計予算などを議決

任期最後の定例会となる3月定例市議会は、2月22日から3月22日までの会期29日間にわたって開かれ、市長から提案された26議案、議会から提出された1議案について、26議案が原案どおり可決、1議案が撤回承認されました。

3月定例会に提案された
主な議案と委員会の審査
内容を紹介します。

会議初日（2月22日）は、会期を29日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

2月27日及び28日は、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

3月5日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、その後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月7日は、新年度予算及び追加議案に対する質疑を行い、その後、所管の委員会に審査を付託しました。

最終日（3月22日）は、各委員会の委員長が、委員会での議案審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採

決を行いました。

続いて追加議案の審議及び委員会提出の議案の審査を行い、閉会しました。

議案第1号 平成30年度館山市一般会計補正予算（第9号）Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ2500万円を追加し、総額18億5282万2千円としようとするもの。（ふるさと納税推進事業）

議案第2号 議案第6号 平成31年度館山市一般会計予算及び4特別会計予算Ⅱ下表予算審査特別委員会の審査

（委員長 吉田恵年議員）

平成31年度一般会計及び4特別会計予算の審査に当たり、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。委員は次のとおりです。

（◎委員長、○副委員長）
◎吉田 恵年 ○石井 敏宏

森 正一 望月 昇
石井 敬之 龍崎 滋
今井 義明 内藤 欽次
福岡 信治

平成31年度一般会計・特別会計予算（単位：千円）

会 計 名		本年度予算額	前年度予算額	増減率(%)
一 般 会 計		19,379,000	17,953,000	7.9
特別会計	国民健康保険	5,840,047	5,855,791	△0.3
	後期高齢者医療	753,062	734,550	2.5
	介 護 保 険	5,917,593	5,692,092	4.0
	下 水 道 事 業	799,208	805,489	△0.8
一般・特別会計合計		32,688,910	31,040,922	5.3

作る動きはないのかと聞いたところ、都道府県は設置の義務があり、人口30万人程度の中核市は、政令で定めることで設置ができるが、市町村での児童相談所の設置は、制度的にできない、との説明がありました。

フツ化物歯面塗布（しめんとふ）業務委託事業に関して、2歳児対象の歯面塗布により、どのくらい歯の虫歯が抑えられるのかと聞いたところ、資料による虫歯の予防効果は、34から55パーセント程度で、統計学的には有意な数値である、との説明がありました。また、これは国の施策なのかと聞いたところ、国ではなく、館山市が虫歯予防対策として、導入しようとするものである、との説明がありました。

漁港管理事業に関して、毎年しゅんせつを行っている波左間漁港について、以前の建設経済委員会で検討すると回答があった原因調査を行う考えはあるのかと聞いたところ、専門機関のアドバイスによると、基本的に防波堤に囲まれた漁港は、漁船の航路に支障をきたす、防波堤の先端部分である開口部の潮流調査を行えば有効だが、波左間漁港や坂田漁港のように、防波堤が一方だけの漁港は、防波堤

に囲まれていないので、潮流による砂は寄つてきてしまい、漁港の泊地（はくち）を防波堤で囲まない限りは、調査をしても意味がないと伺っているため、他にも解決策がないかを、これから考えていきたい、との説明がありました。

消防団詰所整備事業に関して、第6分団第14部は人数が少ないので、他の部と合併して、一つの詰所になった方が、将来的に良いのではないかと聞いたところ、部の統合問題は、今後いろいろな状況を把握し、検討しなければならぬ。13部との統合話も検討中だが、東日本大震災の教訓を踏まえて、津波浸水想定区域内にある施設を、高台に移転しようとする案件であり、その先々の統合を含めた広さも視野に入れつつ、建設をしていきたい、との説明がありました。

新学校給食センター施設整備事業に関して、今年度事業である入札参加者の募集と審査の進捗状況について聞いたところ、PFI方式を導入して、現在、選定委員会において応募業者の審査をしており、今月中には最優秀提案者を決定し、4月上旬には落札決定を考えている、との説明がありました。

質疑の後、船形館山線道路整備事業の予算を、可能な限り大幅に減額することを求める、組み替え動議が提出されましたが、反対討論が行われた後、賛成少数で否決されました。

議案第7号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 館山市立中学校生徒の自死といじめに関する第三者調査委員会による報告書の提出が平成30年9月10日に行われ、同委員会の事務が完了したため、同委員会の設置に係る規定を削除しようとするもの。また、それに伴い、非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を附則により改正しようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 本多 成年議員)

第三者調査委員会は終了となるが、相手側の理解は得られたのかと聞いたところ、平成30年9月10日に市は第三者調査委員会からの調査報告書を真摯に受け止め、市長からご遺族に報告を行った。併せて、館山市教育委員会に対して、再発防止に係る提言の実現に向けて必要な措置を講じるよう要請し、11月に提言に対する館山市及び館山市教育委員会としての対策を、ご遺

族に報告をした。それから4か月ほど経過し、現在までご遺族から市に対して、お話は頂戴していないので、一定の理解はいただけたものと考えている、との説明がありました。

議案第8号 館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により時間外労働の上限規制等が導入されたことに伴う人事院規則の改正に準じ、所要の改正を行おうとするもの。

総務委員会の審査

現在、市役所で実施している、働き方改革を推進するための取り組みについて聞いたところ、時間外勤務の縮減をはじめ、年次有給休暇の取得促進、毎週水曜日のパワーセービングデー、給料日の定時退庁の促進、フレックスタイムの活用(7月・8月のゆう活(かつ))を行って、との説明がありました。

議案第9号 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について 千葉県人事委員会の勧告に準じて、館山市職員の給与改定を実施しようとするもの。改正の内容

としては、給料表について、若年層に重点を置いて、平均0.2%の引上げを行うとともに、期末・勤勉手当について、民間との支給割合に見合うように0.05月分を引き上げ、年4.45月分としようとするもの。

議案第10号 館山市森林環境与税基金条例の制定について 平成31年度税制改正において平成31年度税制改正において森林環境税及び森林環境与税が創設されることから、市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるために、基金を設置しようとするもの。

総務委員会の審査

東日本大震災の復興のため、個人住民税の均等割に1000円の上乗せが終了することに伴い、同額を森林環境与税として振り替えるものと聞いたところ、森林の有する地球温暖化防止や災害防止、水源涵養(かんよう)等の広域的機能を維持するため、新たな森林管理制度が創設され、その財源確保の目的で、平成31年度税制改正において創設が見込まれるのが、森林環境税と森林環境与税である。森林環境税は国民から広く負担を求め

るため、個人住民税の均等割に1000円上乗せして徴収するもので、徴収された税金を一定の基準に従って、県と市町村

に配分するものが、森林環境与税となる。森林環境税は令和6年度から課税予定だが、国民の負担増を避けるため、東日本大震災による住民税均等割の上乗せ終了を待っての開始となる、との説明がありました。

議案第11号 館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて 現在計画期間中である「館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画」について、平成31年度実施予定の市道7035号線外1線の道路拡幅工事に係る測量及び設計を新たに計画事業として位置付けるため、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めようとするもの。

総務委員会の審査

市道7035号線外1線の工事に關し、今後の詳細設計、地域への説明等のスケジュールを聞いたところ、設計前に路線用地の測量調査を行う必要があり、この調査には地権者の了解が必要なので、地元区に調整を依頼しているところである。詳細設計は測量データを基に行うので、平成31年度予算に測量調査と設計委託

料を計上している。用地は地権者の寄付を前提としているので、令和2年度は分筆登記等の手続処理、令和3年度以降に工事を考えている、との説明がありました。

議案第12号 館山市西岬(西)地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて 現在計画期間中である「館山市西岬(西)地区に係る公共的施設の総合整備計画」について、平成31年度から令和2年度にかけて実施する予定の市道4040号線の法面補修工事を新たに計画事業として位置付けるため、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めようとするもの。

議案第13号 交通安全都市宣言について

宣言をした昭和40年と比較して、現在の時代背景や交通事情は大きくか

総務委員会の審査

非常に社会的な問題となっている、あおり運転も文言に

入れているかと聞いたところ、あおり運転の危険性も十分に認識しているが、宣言文の中にある「思いやりのある交通マナーの実践」をするこにより、自己の感情で他人に恐怖を与えるような運転はなくなるものと考え、あおり運転の抑制も含んだ内容としている、との説明がありました。

議案第14号 館山市博物館設置条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ指定管理者が管理を行うことができるようにしようとするもの。

文教民生委員会の審査
(委員長 望月 昇議員)
市が直営で続ける業務は、学芸業務の他にはどのようなものがあるのか聞いたところ、博物館本館と渚の博物館については、受付業務以外はこれまでどおり市で管理していく、との説明がありました。

学芸業務や郷土の文化財の保存管理など、博物館の根幹の業務に関わる部分については、しっかりと市が責任を持って維持していくために、これからも直営でやっていくということか、と聞いたところ、そのとおりである、との説明がありました。

議案第15号 館山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が改正されたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件を変更しようとするもの。

文教民生委員会の審査
改正の要点としては、一つは、教育職員免許などが一切ない人であっても、5年以上、学童クラブに従事し、市長が認めた者。もう一つは、免許の有効・無効を問わず、教育職員免許を持っている者。この2つを資格者として認めるということではないか、と聞いたところ、そのとおりである、との説明がありました。民間委託を行っている中で、支援員や補助員の数は十分であるか聞いたところ、人数としては足りている、との説明がありました。

議案第16号 館山市漁港漁場整備事業分担金徴収条例の制定についてⅡ漁港漁場整備事業を実施する際に、受益者から分担金を徴収するために、必要な事項を定めようとするもの

〔撤回承認〕 本会議において指摘があり、漁業協同組合との十分な意見調整が必要であるとの理由から、撤回された。

議案第17号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ指定管理者が管理を行うことができるようにしようとするもの。

建設経済委員会の審査
(委員長 今井 義明議員)
これまでの職員の現状と、今後どのようなのか聞いたところ、公園と博物館の現状の職員は18名から20名であり、業務仕様書の中で地元採用及び経験者の採用をお願いしていくことになる、との説明がありました。

議案第18号 平成30年度館山市一般会計補正予算(第10号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ4億254万2千円を減額し、総額184億5028万円としようとするもの。(歳出の増は、フレフレ・たてやま応援基金積立金など。歳出の減は、船形館山線道路整備事業など。)

議案第19号 平成30年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ5億5967万6千円を追加し、総額64億7361万6千円としようとするもの。(歳出の増は、一般被保険者療養給付金など。)

議案第20号 平成30年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ845万4千円を減額し、総額7億2983万1千円としようとするもの。(歳出の減は、後期高齢者医療広域連合納付金。)

議案第21号 平成30年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ834万1千円を追加し、総額61億641万6千円としようとするもの。(歳出の増は、介護給付費準備基金管理事務。)

議案第22号 平成30年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3654万2千円を減額し、総額7億7190万4千円としようとするもの。(歳出の減は、鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理包括的民間委託事業など。)

議案第23号 平成31年度館山市一般会計補正予算(第1号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ240万2千円を追加し、総額193億8140万2千円としようとするもの。(歳出の増は、予防接種事業。)

議案第24号 平成30年度館山市一般会計補正予算(第11号)Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ8275万3千円を追加し、総額185億3303万3千円としようとするもの。(歳出の増は、非構造部材耐震対策事業。)

議案第25号 平成30年度館山市一般会計補正予算(第12号)Ⅱ繰越明許費として、年度内に完了しない見通しとなった雨水排水路管理事業の追加をお願いしようとするもの。

議案第26号 人権擁護委員候補者の推薦についてⅡ人権擁護委員法の規定により、引き続き佐野昭雄さんを推薦しようとするもの。

【議会提案議案】
発議案第1号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ市長等及び一般職職員の給与改定に併せて改正しようとするもの。(平成29年4月から期末手当の引き上げを未実施)

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、2月27日と28日の2日間にわたり、次の9名の議員が行いました。議員別の質問要旨は、次のとおりです。(掲載項目：太字) 次ページ以降が主な質問と答弁です。)

	本 多 成 年 ① 児童虐待の実情 (管轄する児童相談所・管内の虐待状況、虐待の報告・相談体制、学校・教育委員会・児童相談所との連携、幼児への対応、今後の対策)
	望 月 昇 ① 中心商店街のリノベーションまちづくり (事業手法・推進方法) ② 旧県立安房南高等学校の跡地活用 (現市庁舎の耐震性の現状・今後の使用、市庁舎の移転) ③ 館山若潮マラソン大会 (第39回大会の総括、第40回大会への抱負)
	太 田 浩 ① 定住自立圏構想 (今後の取り組み、制度活用) ② 遠距離通学者に対する支援 (学区外通学者に対しての補助、制度の見直し)
	石 井 敏 宏 ① 医療と介護 (夜間・休日の小児救急医療体制の現状と改善策、終末期医療施設の現状、在宅医療体制、介護士不足対応策) ② タクシーの活用 (高齢者への利用助成金、深夜・早朝営業再開) ③ 市職員の業務効率化 (業務多忙の傾向、職員の意見反映) ④ 持続可能な開発目標SDGs (施政方針での施策)
	瀬 能 孝 夫 ① 死亡後の書類届け出 (利便性向上への取り組み) ② 幼稚園等への防犯カメラの設置 (単体で開園している幼稚園等への設置) ③ 大人用おむつのごみ処理対応 (今後の取り組み) ④ 城山公園のサル等の飼育環境 (動物虐待の指摘への認識・対応)
	森 正 一 ① 第三中学校の耐震化 (有利な財源確保の状況・可能性、基本設計の概要、大規模地震発生時の新たな安全対策・実施状況、生徒・保護者等への説明会の実施、耐震化までの最短スケジュール) ② 子育て支援の充実 (幼児教育の無償化の内容、市独自の対応、待機児童への対応) ③ 公立小中学校教員の働き方改革 (小規模校と大規模校の時間外勤務状況、改善への取り組み) ④ 交通安全対策の強化 (ゾーン30の指定とその効果検証、今後の指定) ⑤ イノシシからの児童生徒の安全対策 (学校敷地内への侵入状況と対策)
	龍 崎 滋 ① ふるさと納税制度の有効活用 (納税の現状と活用の効果、納税額の増加への取り組みと市の活性化の方策) ② 災害対策としての地区防災計画 (取り組み状況、認定に対する認識と課題、今後の取り組み) ③ 観光危機管理の充実 (地域防災計画に観光旅行者に対する非難場所や避難経路などの計画が定められているか、外国人旅行者への情報伝達、旅館組合等の協定・観光関連施設の耐震化)
	内 藤 欽 次 ① 避難経路となる公共道路の整備点検 (ブロック塀の調査結果、冠水した道路の対策、今後の見直し、防災マップの見直し) ② イノシシの捕獲駆除・食肉活用 (ジビエ利用拡大への市の取り組み、住民要望、地域活性化) ③ 小中学校教員の労働負担軽減 (勤務実態、部活のガイドライン、いじめ・虐待に対するルール) ④ ごみの減量化 (平成30年度の取り組み、リサイクルフェアの開催)
	鈴 木 順 子 ① 災害時の高齢者・障がい者の避難所確保 (要支援者名簿、運用、情報共有) ② 公共交通のあり方 (利用者のニーズと進め方) ③ 有害鳥獣対策 (現在の支援対策と問題、山林の保全と環境整備) ④ 子どもへの虐待 (市の専門職、関係機関との連携) ⑤ 高齢者対策 (地域づくりの進捗状況)

※ 紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、図書館の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

＊本多 成年議員＊

児童虐待の実情

問 館山市を管轄する児童相談所と管内の虐待状況について

答 館山市を担当する児童相談所は、君津児童相談所で、袖ヶ浦市以南の7市1町を担当しており、平成30年4月現在、正規職員32名及び非常勤職員31名で対応しています。君津児童相談所が受け付けた管内の虐待相談件数は、平成27年度が456件、平成28年度が525件、平成29年度が617件となっており、増加傾向にあります。このうち、館山市に関する相談件数は、平成27年度が44件、平成28年度が38件、平成29年度が59件と推移しています。

平成29年度の相談件数617件の内訳については、著しい心理的外傷を与える心理的虐待が338件、養育の放棄又は怠慢に当たるネグレクトが157件、体に外傷を生じる又は生じるおそれのある暴行を加える身体的虐待が115件、わいせつな行為をする又はさせる性的虐待が7件で、この傾向は千葉県内全体でも同様となっています。

問 館山市での児童生徒の虐待に関する報告、児童生徒が教職員などに相談できる体制等について

答 館山市では、学校や児童相談所、地域住民等からの通報により、「虐待が行われている」又は「虐待が

行われている疑いがある」などの情報を把握しており、一般の方も相談しやすいように家庭児童相談室を設置しています。

学校における相談体制については、各学校が定期的に行っている教育相談の場で児童生徒本人が学校生活や家庭生活の中で困っていることなどを聴く機会を設けています。また、アンケートや校内に設置している相談ポストにおいても、児童生徒本人が日常生活で困っていることがあれば、記入できるようになっています。虐待の把握については、児童生徒からの直接の訴えだけでなく、児童生徒の外傷や身なり、言動など、教職員が日常の観察を通して、気になる点があれば、児童生徒から直接話を聴くなど、把握に努めています。

＊望月 昇議員＊

中心市街地のリノベーションまちづくり

問 リノベーションまちづくりの手法と推進について

答 リノベーションまちづくりは、まちなかの空き店舗や空き家などの遊休不動産について、起業・創業意欲のある人材が新しい使い方により利活用を図ることで「まち」を再生する事業であり、地域課題を解決することを見据えて民間主導でプロジェクトを起こし、行政がこれを支援する形で事業を促進する、民間主導の公民連携事業で

す。リノベーションまちづくりに精通した地域おこし協力隊を導入し、市の担当者とともに、リノベーションまちづくりが市民協働により推進されていくための、基盤づくりを行っていきます。

旧県立安房南高等学校の跡地活用

問 今後の新しい市役所庁舎の移転に向けた考え方について

答 将来的な市役所庁舎の移転先としては、市民・県民の利便性向上の観点から、旧県立安房南高等学校の跡地が最も望ましい候補地であると考えており、これまでに、通算で4回、国・千葉県・館山市の3者で、本跡地のグラウンドデザインや活用案の検討に関する意見交換を行い、具体的な協議を重ねてきました。市役所庁舎の移転時期や整備規模についての本格的な検討はまだ始めていませんが、庁舎移転に伴う財政負担のほか、人口動態、行政需要の変化、AI（エーアイ）の進展等を考慮しながら、時期を見計らって、検討していきたいと考えています。

館山市では、引き続き、国・千葉県との意見交換を綿密に行いながら、本跡地への市役所庁舎の移転に向けて取り組み、市の中心部への都市機能の集積による安房の中心都市づくりを推進していきたいと考えています。

解説 現庁舎の老朽化、駐車場不足などの解決策として、また、安房地域の行政機能の集積によるワンストップ化を図るため、本跡地の利活用を推進し

ていきます。

＊太田 浩議員＊

定住自立圏構想

問 今後の取り組みについて

答 定住自立圏構想の実現に向けた取り組みは、地域の共通課題への解決策として有効であると考えており、施政方針でも述べましたとおり、南房総市と連携・協力することで、公共交通などネットワークの強化や、医療・福祉など生活機能の強化を目的とした、定住自立圏構想の推進について検討を始めたところです。

問 制度活用について

答 安房地域における定住自立圏形成に向けた取組として、過去を遡ると、千葉県から助言を受けつつ、平成21年度から安房3市1町による検討・協議を重ねてきましたが、過去の合併協議のしこりや、館山市が中心となること、中心市と近隣市町とは特別交付税措置額に偏りがあることなど、様々な要因がある中で、最終的な合意形成は困難との結論に達し、平成24年度に制度活用の検討を休止しました。また、その後の対応についてですが、定住自立圏構想の着実な実現に当たり、地域公共交通ネットワークの利便性確保に関して、国から、生活圏が重なる南房総市と連携するように助言を受けていることもあり、まずは、連携施策のメニューをある程度限定した中で、先行して館山市と南房総市の2市によ

る定住自立圏の形成を目指し、将来的に安房3市1町への拡大を検討していくなど、段階的に進めることが現実的であると考え、平成30年12月21日に南房総市に対して定住自立圏形成に向けた協議再開の申入れを行ったところ、平成31年2月7日に同意を得ることができました。

したがって、今後は、まず、館山市と南房総市の2市による定住自立圏の形成に向けて、スケジュールや連携施策の検討など、具体的に取り組んでいきたいと考えています。

石井 敏宏議員

タクシーの活用

問 車の運転ができない人にとつてのニーズは、ドアからドアへの輸送ですが、高齢の無免許者に対してタクシー利用の助成金を出せないものでしょうか。

答 今後、高齢化が進むにつれ、ドアからドアへ輸送できるタクシーのニーズは更に拡大していくものと予想しています。しかしながら、タクシードライバーが不足しているなど、タクシー事業を将来にわたって持続的な交通サービスとして提供していくには多くの課題があります。このような状況を踏まえ、まずは、ドアからドアへの輸送などの利用者のニーズにどのように対応していくのか、地域公共交通網形成計画の策定を通じて検討していきたいと考えています。

市職員の業務効率化

問 職員の有給取得率が低いのですが、業務多忙の傾向があるのではないのでしょうか。

答 平成29年における館山市職員の年次休暇の平均取得日数は8日となっており、平均取得日数が最も低かった平成25年度と比較すると約1日増加しています。

また、業務量に関しては、少子高齢化の進展や地方分権への対応、住民ニーズの多様化など、行政需要が複雑多様化している状況もあることから、職員一人一人の業務量は増加傾向にあると言えます。

このように、職員一人当たりの年次休暇取得日数は近年増加傾向にあることから、業務量の増加に伴い、年次休暇の取得率が低くなるとは一概には言えない状況です。

「ワーク・ライフ・バランス」という観点からも、元気な心と体で生き生きと職務に臨んでいただけるよう、年次休暇の積極的な取得や、年次休暇と夏季休暇の有効活用について、引き続き職員に働きかけていきます。

解説 経済観光部や教育部など休日にイベントがある部署の有給取得率が低くなっており、代休すら取れていないケースも見られます。イベントの簡素化、民間委託化、多忙な部署への職員の増員など、改善が必要だと考えています。

瀬能孝夫 議員

死亡後の書類届け出

問 死亡後の市役所に提出する届け出書類は種類も多く、複数の担当窓口に関係する場合もあり煩雑である。利用者の窓口における利便性向上への取り組みについて問う。

答 中心となる市民課において、利用者により添った対応が出来るように、窓口職員の打ち合わせを頻繁に実施し、関係部署へつなぐなど連携を図っています。具体的には、死亡に伴う各種手続きが分かり易く整理されたリーフレットをお渡しするなど、一つの場所でするような工夫をしています。しかしながら、庁舎スペースが狭いことなどにより、現実的な制約があることも事実です。ご提案の先進事例をしっかりと把握し、導入できる部分は積極的に取り入れるなど、利用者目線に立った努力を重ね「丸ごと支援」のまちづくりの実現につなげたいと考えています。

解説 別府市では、職員の知恵と熱意によって、予算をかけずに利便性の向上を目指した「おくやみコーナー」を設けました。職員が情報を入力すると、関係書類と担当課の一覧表が利用者へ渡され、同時に各課にも情報が伝達されます。書類が用意された状態で迎えられることで、最大で5割の時間短縮になります。本市も「利用者目線」を常に意識し、身近な行政改革に努めてほしいと思います。

幼稚園等への防犯カメラ設置

問 房南こども園など、単体で開園している幼稚園等については、不審者への対応が職員だけでは無理があると考え、その対策として、犯罪抑止力に有効とされる防犯カメラの設置について問う。

答 現在各園では、不審者対応訓練や、警察への巡回依頼、近接学校との緊急連絡等の連携を図り、安全対策を実施しています。防犯カメラの設置は、犯罪の抑止力の向上につながるものと認識しており、今後設置を検討していきます。

解説 防犯カメラの設置は、子供には安全、保護者と職員にとっては安心につながるものと考えます。また、多くの人に周知することも、犯罪抑止の効果を増すものと期待します。市内における単体の幼稚園等から、速やかに設置へ向け、取り組まれることを望みます。

森 正一議員

第三中学校の校舎耐震化

問 有利な財源確保の状況・可能性について

答 現段階では見通しがついていないが、今後も引き続き、校舎の建替えに向けて、有利な財源確保に努めていきます。

問 基本設計の概要について

答 本議会の会期中に全員協議会での説明を予定しています。

解説 耐震不足が判明して以来5年が経過しましたが、財源確保ができず、基本設計は完了したものの、実施設計に進めずにいます。実施設計にも有利な財源を使えることから、新年度予算には含まれていません。一般財源で先行して設計を実施すべきと考え、実施設計を行うことを要望しましたが、残念ながら受け入れられませんでした。

また、基本設計については、本議会の会期中に全員協議会で説明するとの回答でしたので、そこで改めて議論することになりました。第三中学校の耐震化は最優先かつ最重要課題であり、何よりも子どもたちの命を守ることは私たち大人の責務です。引き続き、早期耐震化の完了を求めて参ります。

イノシシからの安全対策

問 学校敷地内にイノシシが侵入し、児童生徒が危険にさらされる可能性があるとのことだが、その状況と対策はどうか。

答 神余・那古小学校において、敷地内にイノシシが侵入した痕跡があったと報告を受けている。神余小学校では山側に防護柵を設置した。那古小学校においては、最近イノシシが侵入した形跡はないとの情報を受けているが、北側が山に隣接しており、周辺での出没情報がある。また、他の学校施設周辺でも目撃情報があるので、登下校中における児童生徒の安全対策も含め、関係機関と連携しながら、児童生

徒の安全確保に努めていく。

解説 イノシシの捕獲頭数は近年倍々が増えており、増加に歯止めがかからず、市街地や学校施設内にも現れています。農業被害を無くし、そして、児童生徒、市民や来訪者に危害が及ばないよう、引き続き効果的な対策を求めて参ります。

龍崎 滋議員

ふるさと納税制度の有効活用

問 納税の現状と活用の効果を伺います。

答 平成31年1月末現在の実績は、寄附件数8046件、寄附金額は2億2945万8315円で前年度と比較して寄附件数で263倍、寄附額で175倍です。頂いた寄附金は指定された事業や、子育て支援・教育の充実、有害鳥獣対策など館山市の課題となっている事業に活用し、今後は、より強く寄附者の共感が得られるように、指定事業のPRや実績報告を充実させていきます。近年はふるさと納税で館山を知る人も多く、ふるさと納税の更なる魅力アップに加え、寄附者との継続的なつながりを作り、実際に地域を訪れ、地域に関わる「関係人口」の創出と市の活性化につながる仕組みにしていきたいです。

解説 ふるさと納税の寄附が増加することにより、市では貴重な歳入となり、返礼品提供事業者は売り上げの向上につながります。しかし、それ以上の経済効果を生み出すために、寄附者が館山に訪れ、地域づくりに参加をし

て館山市との関係を深める「関係人口」の創出の必要性を述べました。

災害対策としての地区防災計画

問 災害対策として地区防災計画について、市の取組みを伺います。

答 災害対策基本法の改正において、自助、共助に関する規定が追加され、地区単位の居住者が行う自発的な防災活動に関する「地区防災計画」制度が施行されました。現在館山市では、町内会ごとに146の防災組織を設立しており、それぞれで避難訓練や防災講座等の訓練を実施しています。が、市内で「地区防災計画」を策定した地区はありません。今後は、小学校単位での「地区防災計画」の策定を目指し、地域防災リーダー連絡協議会を通じて活動を進めていきます。

解説 国の「防災基本計画」や地方自治体が定める「地域防災計画」よりも、より地域の実情に沿った計画として、地区ごとに実践的な自助共助の活動をまとめおくことが重要です。東日本大震災以降、ずっと自主防災組織の充実を訴えてきましたが、地域防災リーダーの養成とともに、避難所運営委員会の立ち上げで災害に備えるように要望をしました。

内藤 欽次議員

避難経路となる公共道路の整備点検

問 ブロック塀の点検箇所数とその結果について

答 館山市内の各小学校の半径500メートル圏内の通学路に面する約500基のブロック塀については、平成30年11月から平成31年2月にかけて、ブロック塀に対する指導権限を持つ千葉県と協力して、現地調査を行いました。現在、千葉県において、今回の調査結果や所有者への指導状況等を取りまとめしており、今年度末を目途に関係市町村と情報共有を図っていくと伺っています。

また、館山市内全域のブロック塀等の所有者に対しては、引き続き、広報等による安全点検の必要性の周知、鉄筋探査機の無料貸出しなどに努めています。

小中学校教職員の労働負担軽減

問 教職員の勤務実態について

答 平成30年12月に実施した調査によると、小学校の教員の同年11月における平均出勤時刻は午前7時26分、平均退勤時刻は午後6時32分、平均在校時間は11時間6分となっています。中学校の教員の同時期における平均出勤時刻は午前7時5分、平均退勤時刻は午後7時29分、平均在校時間は12時間24分となっています。

教員1人当たりの授業持ち時間ですが、週当たり小学校では25時間程度、中学校では20時間程度ですが、学校規模や担当教科等により一律ではありません。

また、運動部顧問の月平均活動時間ですが、季節、部活動の内容により、活動時間が変わります。放課後の活動については、日没までに生徒を帰宅させられるよう、活動時間を設定していますので、夏場の平日は、長くて2時間、冬場の平日は30分程度となっています。

鈴木 順子議員

災害時の高齢者等の避難所確保

問 高齢者や障がい者対象の福祉避難所について、対象者の避難には、要支援者名簿が必要で作成には同意が求められています。状況はどうか。また、運用ができる状況になっているか。医療ケアが必要な方にはどうなっていますか。

答 福祉避難所としての利用施設は、館山市旅館組合と「覚書」を締結し、31カ所の利用施設がある。(医療行為は含まれず、支援者の同行が必要な場合もある) 要支援者名簿については、対象者数の半数強となっている。運用については、名簿情報とともに、要支援者の居場所がわかるような地図が作成できるようになっている。医療ケアが必要な方(人工透析や酸素吸入を行っているなど)、それ以外で医療ケアを必要とされる方の情報を把握するために、医療機関との連携が必要と認識し、災害医療対策会議で検討をおこなっています。

解説 同意書の進め方について、本

人や家族に理解を求めるには、ケアマネージャーなどを介するなど工夫が必要ではないか、医療ケアが必要な方は、いつ災害が来るか、どこへ、どう移動させるか、不安だと思っている方もいるというのが現実で、早い対応を求めます。

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策として、捕獲、防護への支援体制をとっているが、現状の支援体制をどう捉え、問題点をどう認識しているのでしょうか。また、山林保全と環境整備について考えはあるのでしょうか。

答 獣害対策の3本柱である「捕獲、防護、環境整備」を推進するため、対策協議会を中心に取り組みを進めています。特に環境整備が重要と考え、活動の拡大に力を入れ、成果がはじめています。課題として、捕獲個体の処理の問題があり、焼却処理施設は整備費が高額であることから、県に要望していますが、いまだに実現に至っていません。山林の保全と環境整備については、イノシシは山の中ではなく集落周辺の山裾に生息している結果であり、対策として、耕作放棄などの刈り払いや林縁部(りんえんぶ)の環境整備をして集落と山裾の間に見通しの良い空間を作ることが重要と考え、地域ぐるみ活動の拡大を図りたい。

解説 高齢者が捕獲したイノシシを埋却するためには限度があり、環境整備も併せて行う事が求められる。個体

は一般廃棄物であり、処理施設の整備を県に強く支援要請を願う。

市議会を傍聴しませんか!

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階前)で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議の生中継(当日)、録画配信(会議当日から約50日間)を行っていますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

表紙の写真

5月15日に行われた臨時会において議長及び副議長等の新たな議会の構成が決まりました。

会議録の検索・閲覧

3月定例会及び委員会の会議録は、ホームページから検索・閲覧ができます。また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

編集後記

館山市議会の改選により、委員会人事を含め議会構成も新たになりました。これに伴い『たてやま議会だより』も、新たに私たち4名の議会編集委員会が担当します。

4年前に市議会で議会基本条例を制

定・施行してから、この議会だよりでも、予算案・条例案等に対する各議員の賛否を示すように改革しました。また、読みやすくするため、一般質問の掲載の仕方を、議員ごとの現在の仕様に変えました。今回は改選前の3月定例会の内容が中心ですが、これから、読者目線を持って、よりわかりやすい議会だより作りを行っていきますので、よろしく願います。

(石井敬之)

議会報編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎石井 敬之 ○石井 敏宏

望月 昇 鈴木 正一

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話またはメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

6月議会開会中

- 開会日
6月7日(金)午前10時から
- 一般質問
6月13日(木)、6月14日(金)
各日午前10時から
予備日
6月17日(月)午後1時から
- 閉会日
6月26日(水)午前10時から

平成31年3月定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	議決結果
議案第1号	平成30年度館山市一般会計補正予算（第9号）	原案可決 全会一致
議案第2号	平成31年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第3号	平成31年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第4号	平成31年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第5号	平成31年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第6号	平成31年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第7号	館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第8号	館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第9号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市西岬（西）地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて	原案可決 全会一致
議案第13号	交通安全都市宣言について	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市立博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市漁港漁場整備事業分担金徴収条例の制定について	撤回承認 賛成多数
議案第17号	館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	平成30年度館山市一般会計補正予算（第10号）	原案可決 全会一致
議案第19号	平成30年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第20号	平成30年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第21号	平成30年度館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第22号	平成30年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第23号	平成31年度館山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第24号	平成30年度館山市一般会計補正予算（第11号）	原案可決 全会一致
議案第25号	平成30年度館山市一般会計補正予算（第12号）	原案可決 全会一致
議案第26号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第1号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数

付託委員会（■ 総務 ■ 文教民生 ■ 建設経済 ■ 予算審査特別 付託なし）

議案等の賛否（賛否が分かれたもののみ掲載）

（議席順）

議員名 議案等番号	榎本祐三	石井敏宏	森 正一	瀬能孝夫	望月 昇	石井敬之	太田 浩	龍崎 滋	今井義明	石井信重	本多成年	鈴木正一	内藤欽次	福岡信治	吉田恵年	本橋亮一	鈴木順子
議 案 第 2号	議長	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
議 案 第 4号	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議 案 第 16号	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
発議案 第 1号	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○